

草加市議会議員 草加育ち

川崎 ひさのり



かわさきひさのり プロフィール

昭和46年2月生まれ 54歳

草加市立両新田小学校→両新田中学校→越谷北高校→獨協大学法学部卒業

【資格】・国家資格キャリアコンサルタント・AFP・防災士・介護福祉士 初任者/実務者研修修了

【趣味】・ブラジリアン柔術(野武士所属)・ギター・ドローン(二等無人航空機操縦士資格保有)

「保身」から「挑戦」へ
「ごまかし」から「誠実」へ

■予算編成はこれまでから今を積み上げるだけでなく、将来からの逆算が必要では？■

令和7年度 一般会計予算 916億7600万円 (前年度比21億1100円増) 主たる内容

歳入について 法人市民税は前年度比で減額。業種で見ると、卸売・小売業は増収し、製造業が減収。個人市民税の増額は納税者の所得の増加及び減税終了が要因。固定資産税は不動産鑑定の結果、土地の価格が上昇したが据え置かれ、家屋と償却資産の増額。これは、新增築と設備投資増加が要因。

歳出について 職員数の増加と人材確保施策の見直しが進められており、併せて生活保護業務の負荷状況についても検討されている。さらに、公共施設の管理業務委託やランドデザインの推進、平和大使派遣事業の展開が盛り込まれている。一方で、金婚式助成金については、社会状況の

変化を踏まえ廃止の判断がなされた。

衛生費では、带状疱疹ワクチン接種への補助制度が導入され、特定外来生物対策に係る予算の増額も示されている。また、「こどもプラン」の着実な推進とともに、新たな健診事業の導入も進められている。加えて、公園のリニューアル計画についても詳細が示された。

【ポイント】

歳入に関しては、その多くが景気や一時的な政策の影響を受けるものであり、今後も持続的な財源となるかは不透明です。

将来の財政を問う

私たちが今、本当に考えなければならないのは、「この先をどう生きるか」という視点だと思っています。人口減少や高齢化、地域課題の複雑化が進む中で、短期的な予算だけでなく、中長期的なビジョンと計画性を持った予算編成が不可欠です。

財政調整基金は、令和6年度末残高見込みで約53億円超の一定の余力がありますが、これはあくまで“備え”であり、“余裕”ではありません。未来への投資と、リスクへの備え。このバランスをしっかりと見極めながら、単年度主義に甘んじることなく、持続可能な財政管理を求めてまいります。

「未来の草加をどう形づくるか」という明確なビジョンを起点に、そこから逆算して今の予算をどう組むべきかを考えるべきです。
その判定の拠り所となる、将来像に基づく事業実施計画と連動した**予算推移計画の作成および明示**を、引き続き求めてまいります。



■健全な財政運営について■

一般質問

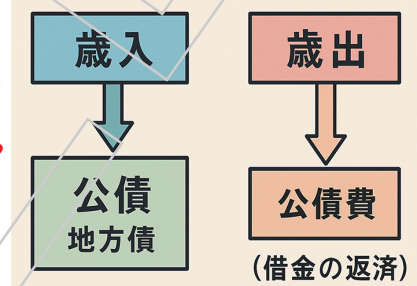
今定例会では「健全な財政運営の推進」をテーマに、草加市の経常経費のあり方を、特に「公債費(借入金)」について質問しました。

家計に例えると分かりやすいと思うのですが、ローンのない生活は、経済的なゆとりをもたらします。自治体財政も同様に、負債は少ないに越したことはありません。もちろん、世代間の公平性や早期の効果を見据えた投資には、一定の借入も必要です。しかし、計画的に負債を減らす視点は欠かせません。

市からは、公債費のピークは令和11年度の約70億円で、その後は減少傾向との見通しが示されました。今後も、市債は将来世代への過度な負担を避けることを基本に、国の補助金や有利な地方債を活用しながら、歳入確保と歳出の適正化に努めるとのことです。

全くもって教科書的な答弁でしたが、借金は将来を担う世代への責任の先送りです。見かけの数字を良くするために公債(借金)を増やすという論外なやりくりを防ぐ為、今後も厳しくチェックと牽制を続けます。

加えて、財政運営の「見える化」も大きく貢献するであろう、「中期財政計画」の策定についても、確実に後追いしてまいります。



厳密に言えば、公債(借入金)を抑制し、公債費(借金の返済負担)をこれ以上増やさないよう努めていくことが重要です。その為には、**完璧を求めすぎず、「バターで良し」とする柔軟な姿勢を皆が共有することも、これからの時代には必要だと感じています。**そうした意識を持って、次の世代へ責任を引き継いでいくことが、今を生きる私たち大人の役割ではないかと考えております。

■学校給食補助費の継続■

市議会の意向が市政を動かす

学校給食費については、子育て支援の一環という側面がある一方で、現行制度では食材費が保護者の自己負担となっています。こうした中、今回の予算議案では、これまで市が行ってきた給食費補助を見直し、保護者にその負担を求める内容が盛り込まれていました。

しかしながら、全国的な動向としては、令和8年度を目処に、まずは小学生を対象とした給食費無償化の実現に向けた協議が進められており(与党と日本維新の会の合意に基づく)、無償化への流れが加速しています。

つまりはあと1年やりくりすれば、国の制度によって給食費無償化が実現する可能性があるという見通しです。こうした状況に鑑み、草加市議会では、教育予算全体の見直しを含む、給食費補助の継続を市長に強く要望しました。

原案可決
(全員)

その結果、議会では全会一致で補助継続の補正予算が可決されました。

私自身の考え方に大きな影響を与えた一冊をご紹介します。『サンクチュアリ』という漫画作品で、教育や人づくりの重要性が描かれています。次世代への投資こそが、将来の社会に大きな価値として返ってくる——それが、私たち日本維新の会の基本的な考え方です。

市民の皆様のご意見・ご要望をお寄せください

日本維新の会 草加市議会議員
川崎ひさのり事務所

お問い合わせ
フォーム



各種SNS・運営サイト



〒340-0002 埼玉県草加市青柳 2-21-6

電話：090-4967-0460 Email：ishin.soka@gmail.com

【発行元】川崎ひさのり事務所 【発行日】2025年4月